

第11回

ヤマハ ジュニア ピアノコンクール

Yamaha Junior Piano Competition



ジュニア部門

実施要項 (2026年版)

展開特約楽器店 参加者用

※ヤマハ特約楽器店より選出・推薦された方用です

個人で参加される方は、「個人エントリー用」をご覧ください



目 次

■ 趣旨・概要	P.1
■ ヤマハジュニアピアノコンクール ジュニア部門 4つの特長	P.3
■ 評価基準・結果発表	P.4
■ 大会日程	P.5
■ 二次選考(映像審査) への参加について	P.6
■ 参加規程：二次選考(映像審査) 以降	P.7
■ 二次選考(映像審査) 概要	P.8
■ セミファイナル 概要	P.9
■ グランドファイナル 概要	P.10
■ 演奏曲 A部門	P.11
B部門	P.12
C部門	P.13
D部門	P.14
■ 演奏規程：二次選考(映像審査) 以降	P.15
■ 自選曲における編曲について	P.17
■ 楽曲演奏使用について	P.19
■ 個人情報の取り扱いについて	P.20
■ 演奏映像の撮影について：YouTubeへの動画のアップロード方法	P.21

■第11回ヤマハジュニアピアノコンクール 趣旨

ヤマハでは、「すべての人がもっている音楽性を育み、自ら音楽をつくり、演奏し、楽しむことの出来る能力を育て、その音楽の歓びを広くわかちあう」ことを教育理念に掲げ、多くの音楽学習者の育成と、様々な音楽ジャンルにおいて幅広く音楽活動ができる人材育成を目指して音楽教育活動を展開してまいりました。

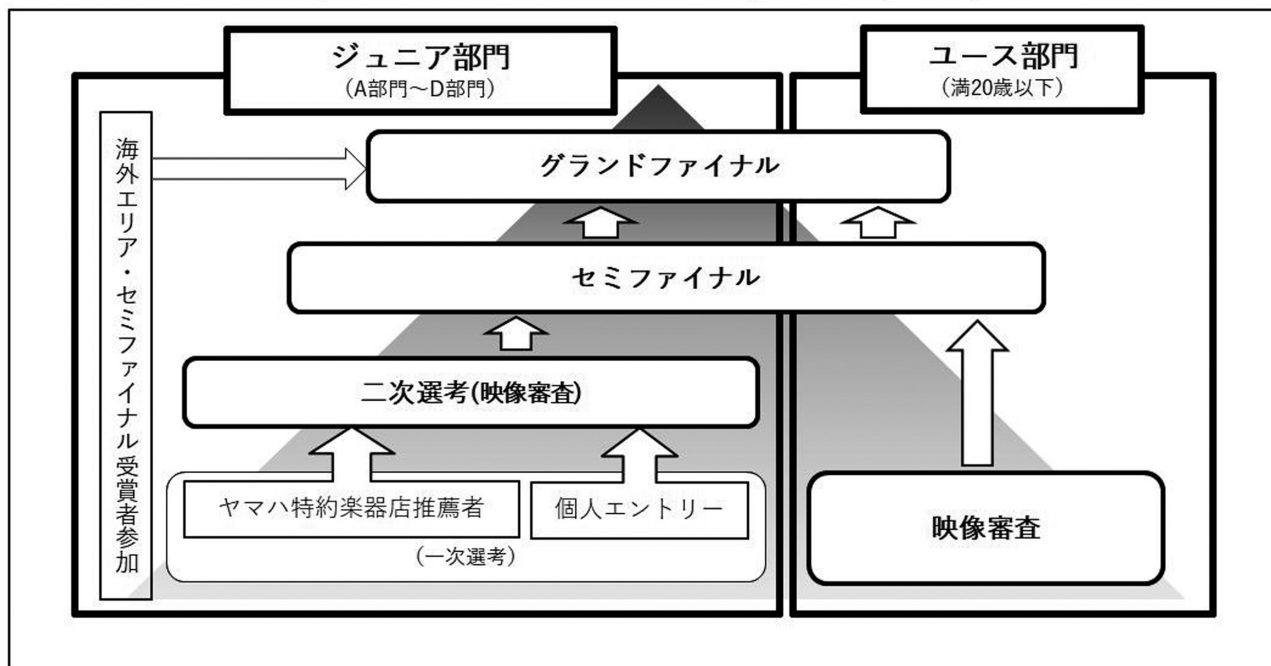
ヤマハジュニアピアノコンクールは、このヤマハの教育理念を念頭に「楽譜から演奏者自身が感じたものを自由に表現してほしい」「音楽の幅や演奏表現の幅を自由に広げてほしい」という願いから、満15歳以下のピアノ学習者を対象に、学習と研鑽、および若きピアニスト育成の場として 2016 年より開催し、今回で第11 回目を迎えます。

多くの人に愛されている「ピアノ」は、誕生以来 300 年余を経てきましたが、西洋音楽の歴史を重ねる中で、楽器の発達とともに多くのピアノ作品が生まれました。その後、クラシック音楽以外の音楽ジャンルや音楽スタイルの登場とともに様々な音楽シーンでピアノが活躍するようになり、現代においてはピアノ音楽は多様化の時代に入ったと言えます。ヤマハジュニアピアノコンクールでは、音楽のジャンルを問わず弾きたい曲を選べることや編曲演奏が含まれるなど、演奏曲の自由度、幅広さが特長となっています。

第6回からユース部門を新設するとともにコンクールのグローバル化を進め、第10回には海外13ヶ国でも展開されました。また、ユース部門では、国内外での活躍が期待される将来有望な満20歳以下の若手ピアニストを発掘し、ヤマハグループ全体で支援を行ってまいります。ヤマハジュニアピアノコンクールへの参加をとおして、より多くのみなさまが、演奏表現力を高めるとともに、演奏者として音楽の個性を豊かに育まれることを願っております。

■第11回ヤマハジュニアピアノコンクール展開概要

展開図



参加資格

部門	ジュニア部門			
	A 部門	B 部門	C 部門	D 部門
年齢 2026年4月1日時点	満8歳以下 2017年4月2日以降に 生まれた方	満10歳以下 2015年4月2日以降に 生まれた方	満12歳以下 2013年4月2日以降に 生まれた方	満15歳以下 2010年4月2日以降に 生まれた方

演奏規程

部門	ジュニア部門			
	A部門	B部門	C部門	D部門
二次選考(映像審査)	課題曲(ロマン派様式) 1 曲+自選曲 1 曲			
制限時間	3 分以内	4 分以内	5 分以内	6 分以内
セミファイナル	課題曲(バロック様式) 1 曲+自選曲 1 曲			
制限時間	4 分以内	6 分以内	8 分以内	10 分以内
グランドファイナル	課題曲(古典派様式) 1 曲+課題編曲 1 曲*+自選曲 1 曲			
制限時間	6 分以内	10 分以内	15 分以内	20 分以内

※A部門は課題編曲はなし

参加費(税込)

部門	ジュニア部門			
	A部門	B部門	C部門	D部門
二次選考(映像審査)	7,700 円	8,360 円	9,020 円	10,340 円
セミファイナル	14,300 円	15,400 円	17,600 円	19,800 円
グランドファイナル	15,400 円	16,500 円	18,700 円	20,900 円

講 評

二次選考(映像審査)・セミファイナル・グランドファイナル	出場者全員に審査員の講評(紙)をお渡しします(再発行不可)
------------------------------	-------------------------------

賞

二次選考(映像審査)・セミファイナル	・奨励賞…優れた演奏者に授与 ・優秀賞…特に優れた演奏者に授与。上位選考への出場権付与 ※両賞とも表彰状を授与 ※申請時の漢字間違い等による再発行は実費負担
グランドファイナル	・第1位～第3位を選出し、受賞者に表彰状およびメダルを授与 ・演奏の場や学習の機会を提供

第10回からの変更点

二次選考(映像審査)とセミファイナルの課題曲時代様式を第10回までとは入れ替え、二次選考(映像審査)⇒ロマン派様式、セミファイナル⇒バロック様式といたします。演奏制限時間に変更はございません。

第10回	第11回
二次選考(映像審査) 課題曲…バロック様式 セミファイナル課題曲……………ロマン派様式	二次選考(映像審査) 課題曲…ロマン派様式 セミファイナル課題曲……………バロック様式

■ヤマハジュニアピアノコンクール ジュニア部門 4つの特長

課題曲は「バロック様式」「ロマン派様式」「古典派様式」から

課題曲はクラシック音楽です。ピアノを学ぶ上で大切な過程にある今の時期に、ぜひ学び、興味を持ってもらいたい楽曲のスタイルとして、この3つの様式から選曲しています。メロディーやハーモニーの美しさに加え、楽曲の時代背景やその時代ならではの音楽の成り立ち、演奏表現などを経験してもらいたいという願いから選定しています。

この先、クラシック音楽の勉強をさらに深めたい、ポピュラー音楽の勉強をしたい、ピアノ以外の楽器を演奏したい…どんな道に進む方にもきっと大きな土台となっていくことでしょう。

自選曲は「自分を表現できる曲」を

ヤマハジュニアピアノコンクールでは、音楽のジャンルにかかわらず、「弾きたい!」と思う楽曲を演奏できるのが特長です。出場者本人が表現したい音楽や弾きたい曲、得意な曲を持つことを大切にしたいと考え、その願いを込めて「自選曲」と名付けています。

演奏する人の個性が存分に発揮できる楽曲を選曲してください。

編曲演奏をとおして「音楽の幅を広げる」

ヤマハジュニアピアノコンクールのグランドファイナルでは、歌劇や管弦楽曲、ミュージカルの劇中曲、民謡など、幅広い音楽ジャンルの中から、原曲がピアノソロ曲ではない楽曲をピアノソロ用にして演奏する「編曲演奏」が課題となっているのが最も大きな特長です(A部門を除く)。コンクール事務局が提示する譜面を演奏していただきますが、個々の技量に合わせて創意を加えていただいても構いません。ピアノ演奏は、一般的には既成曲を演奏することがほとんどですが、既成曲を正確に再現するだけではなく、こうした「編曲演奏」の経験をすることで、音楽の幅や演奏表現の幅を広げ、演奏者としての個性・スタイルを磨いていってほしいと願っております。

さらに演奏を深めるための勉強の場がある

グランドファイナル第1位～第3位受賞者への特典の1つとして、特別レッスン受講の機会を設けております。これまでに、当コンクールのグランドファイナル審査員でもある世界的ピアニスト、パスカル・ドゥヴァイヨン氏や、デトモルト音楽大学にて教授を務められているヤコブ・ロイシュナー氏による特別レッスンを実施しました。また、D部門上位受賞者には、ヤマハグローバルマスタークラスプログラムへの参加の機会も設け、これまでに、パリ音楽院教授のミシェル・ベロフ氏や、ブイドゴシュチュ音楽学校教授のエヴァ・ポブウォツカ氏による特別レッスンを実施しました。

さらに、ヤマハグループが主催するコンサートへの出演など、演奏の機会を設けております。

■評価基準

ジュニア部門の各部門とも、「聴衆の心に響く、魅力ある演奏内容で、そのために必要な演奏技術・表現力を兼ね備え、将来性や個性、説得力を感じさせる演奏」を評価いたします。

評価のポイント

上記の評価基準に加え、下記をポイントとし、あわせて評価いたします。

課題曲	適切な様式感、確かな表現力と技術をもって、楽曲それぞれに相応しい演奏ができていること
自選曲	音楽ジャンルにとらわれない、多種多様な楽曲から、演奏者本人の表現したい内容や意思に相応しい楽曲を選曲し、自分の音楽として表現できていること
課題編曲	課題曲の楽譜（アレンジを加えても可）を、ピアノソロ曲として、演奏者の個性が感じられる魅力ある演奏表現ができていること

講評用紙について（二次選考（映像審査）以降）

講評用紙は、審査員が当日の演奏時間内に手書きで記入いたします。

吟味された文章ではなかったり、印刷されたものと比べて読みにくい場合もあることをご理解ください。

また、複数の審査員が幅広い見地から講評をするため、審査員により異なる内容となる場合もございます。

講評内容についてのお問い合わせには応じかねますことも、併せてご了承ください。

※審査員直筆のため再発行不可

■結果発表

二次選考（映像審査）	選考が終了次第、コンクールWebサイトに掲載
セミファイナル	大会当日、アナウンスにて結果発表 コンクール事務局の2営業日以内にコンクールWebサイトに掲載 ※当日の状況により会場での結果発表方法は変更になる場合があります
グランドファイナル	大会当日、舞台上にて結果発表 2026年8月18日にコンクールWebサイトに掲載

■大会日程

二次選考（映像審査）	
出場者申請受付期間	参加される特約楽器店毎に設定 ※ 詳細は各所属店へご確認ください
2026年2月28日(土)～4月14日(火)	審査期間
2026年4月15日(水)	コンクールWebサイト公開準備
2026年4月16日(木)	結果発表

セミファイナル			
エリア	2026年開催日程	会場	部門
北海道	6月 6日(土)	札幌サンプラザ コンサートホール	全部門
東北	5月30日(土)	名取市文化会館 中ホール	全部門
首都圏・関東	6月13日(土)	ヤマハホール	A／C部門
	6月14日(日)		B／D部門
東海	6月 6日(土)	電気文化会館 ザ・コンサートホール	A／C部門
	6月 7日(日)		B／D部門
近畿・北陸	6月20日(土)	住友生命 いずみホール	A／C部門
	6月21日(日)		B／D部門
中国・四国	5月31日(日)	広島市 南区民文化センター	全部門
九州	5月30日(土)	北九州市立 響ホール	全部門

グランドファイナル		
2026年開催日程	会場	部門
8月 6日(木)	ヤマハホール	A／C部門
8月 7日(金)		B／D部門

■二次選考(映像審査)への参加について

ヤマハ特約楽器店を経由される皆様は、**1** です。

1 ヤマハ特約楽器店から推薦・選出を受ける	2 個人エントリーにて映像審査を通過する
<対象> 当コンクールを展開している全国のヤマハ特約楽器店選考会に参加をし、選出・推薦を受けた方 <選出方法> 選出方法については、参加されるヤマハ特約楽器店にお問い合わせください <応募方法> 参加されるヤマハ特約楽器店にお問い合わせください	<対象> 当コンクールを展開していない特約楽器店に在籍の方 ヤマハ以外でピアノを学習されている方 <選出方法> コンクール事務局が実施する映像審査 <応募方法> コンクールWebサイトより申し込み

⚠ 注意事項

- ⚠ コンクール展開店に在籍されている方、または、特約楽器店選考会に参加される方は、**2**の個人エントリー はできません
- ⚠ ひとりで複数部門への同時エントリーはできません
- ⚠ グランドファイナルで最高位を受賞した場合、同じ部門に再度エントリー できません

■参加規程：二次選考(映像審査)以降

(株)ヤマハミュージックジャパン主催、ヤマハジュニアピアノコンクールにエントリーされた方は、以下の参加規程に同意したものと見なします。

参加資格	・各部門毎、P.1の参加資格を満たしている方 ・ヤマハ特約楽器店より選出・推薦を受けた方 (および、個人エントリー映像審査を通過した方)
エントリーについて	・ひとりで複数部門への同時エントリーはできません ・グランドファイナルで最高位を受賞した場合、同じ部門に再度エントリーできません
演奏の著作権・撮影・録音など	・ヤマハジュニアピアノコンクールで行われる演奏についての録音・録画・撮影などの記録および広報を目的としたSNS・印刷物・出版・展示・Webで発表するすべての権利(著作権、肖像権も含む)は、主催者に帰属するものとします ・主催者による、写真・VTRの販売はありません
審査内容・結果・講評について	・審査内容および結果についてのお問い合わせには一切応じかねます ・講評についてのお問い合わせには一切応じかねます ・講評用紙は審査員直筆のため再発行できません
禁止事項	・各大会の概要(P.8～P.10)をご確認ください
編曲許可申請について	・出場者本人の責任で必要な許可手続きを行うこと(P.17～19参照) ・手続きに関するお問い合わせには一切応じかねます ・申請の不備や無許可が判明した場合は、その時点で失格となります
大会当日について	■セミファイナル／グランドファイナル当日の遅刻・欠席 ・事前に指定された受付締切時間までに、必ず出場者本人が受付を済ませてください ・交通機関のトラブルにより遅刻が見込まれる場合は、必ず事前に指定された当日連絡先に連絡の上、遅延証明書を取得して、会場到着後に受付に提示してください その際の演奏順については、当日ご案内いたします ・自家用車をご利用の場合は、時間に余裕をもってご来場ください ・出場者の都合による欠席の場合、いかなる理由でも申請後の参加費の返金はいたしません
	■セミファイナル／グランドファイナル出場日・出場順 ・出場者による出場日の指定はできません ・セミファイナルでの各部門の出場順は生年月日の若い順で決定します ※生年月日が同日の場合は五十音順 ・グランドファイナルでの各部門の出場順は当日受付後に抽選を行い決定します ・出場者による出場順の指定・変更はできません
	■交通宿泊 ・出場のための交通費、宿泊費は出場者負担となります
	■練習室手配・費用 ・出場のための練習室手配、使用費用は出場者負担にてご実施ください

■二次選考(映像審査) 概要

参加資格	ヤマハ特約楽器店選出者・推薦者 (および、個人エントリー映像審査通過者が合流)
対象部門	全部門
演奏曲	課題曲1曲、自選曲1曲(計2曲) ※詳細はP. 11 ~ 14 参照
制限時間	A部門：3分 B部門：4分 C部門：5分 D部門：6分 ※課題曲・自選曲の2曲を続けて演奏し、上記時間内に収めること
演奏規程	P. 15 ~ 16 参照
応募方法	① ビデオカメラやスマートフォンなどで演奏映像を撮影 ② 応募者がご自身または保護者のYouTubeアカウントに応募曲を「限定公開」で投稿し、共有URLを取得(取得方法はP.21掲載のURLにアクセスの上ご確認ください) ③ 参加される特約楽器店へURLと必要事項を提出 (提出についての詳細は在籍の特約楽器店ご担当者へお問い合わせください)
応募映像について	① 2025年10月以降に撮影したもの ・可能な限り演奏者の全身が映ること ・映像およびデータ上の音の加工や置き換え、エフェクト等、一切の編集を禁止する 違反した場合には失格となります ② 課題曲→自選曲の順で続けて暗譜で演奏すること ・2曲続けて録画すること ・演奏前後のお辞儀、衣装などは不要 ・ステージでの演奏と同様に、曲間に適切な間をあけて演奏すること ③ 撮影方法についてはP. 21参照
応募期限	参加される特約楽器店へお問い合わせください
審査員	3名(音楽大学教員等)
結果発表	4月16日にコンクールWebサイトに掲載
講評	参加される特約楽器店経由で審査員の講評用紙をお渡し
賞	各部門、優秀賞および奨励賞を選出 ※受賞者に表彰状を授与
参加費(税込)	A部門：7,700円 B部門：8,360円 C部門：9,020円 D部門：10,340円 ※参加される特約楽器店へお支払いください
出場者窓口	参加されるヤマハ特約楽器店 ※出場者へのご案内、スケジュール等のご連絡は、特約楽器店ご担当者よりご案内します。
主催	株式会社ヤマハミュージックジャパン
共催	ヤマハ音楽振興会
後援	ヤマハ株式会社

■セミファイナル 概要

日程・会場	P. 5 参照
参加資格	二次選考(映像審査)にて選出された方
演奏曲	課題曲1曲、自選曲1曲（計2曲） ※詳細はP. 11 ～ 14 参照
制限時間	A部門：4分 B部門：6分 C部門：8分 D部門：10分 ※課題曲・自選曲の2曲を続けて演奏し、上記時間内に収めること
演奏規程	P. 15 ～ 16 参照
出場順	各部門において生年月日の若い順 ※A部門から実施するとは限りません
使用ピアノ	ヤマハコンサートグランドピアノ
審査員	3名（音楽大学教員、ピアニスト等）
結果発表	大会当日、アナウンスにて結果発表 コンクール事務局の2営業日以内にコンクールWebサイトに掲載 ※当日の状況により、会場での結果発表方法は変更になる場合があります
講評	出場者全員に審査員の講評用紙を後日お渡し ※選考会に参加された特約楽器店経由でお戻しします
賞	各部門、優秀賞および奨励賞を選出 ※受賞者に表彰状を授与
参加費(税込)	A部門：14,300円 B部門：15,400円 C部門：17,600円 D部門：19,800円 ※参加される特約楽器店へお支払いください
入場について	入場料：無料 ※出場者以外の未就学児の入場はできません ※当日の状況により、観客入場の可否については変更となる場合がございます 変更の場合、詳細は決定次第コンクールwebサイトにてご案内します
大会窓口	ヤマハ特約楽器店 ※出場者へのご案内、スケジュール、プログラム校正等のご連絡は、 特約楽器店ご担当者よりご案内します。
禁止事項	■写真・動画の撮影 ・客席内での写真撮影・録音・動画撮影は演奏や審査の妨げとなる恐れがあるため、禁止させていただきます。 また、録音・撮影(投稿含む)を行った方は、今後のご出場はご遠慮いただく場合がございます。 ※主催者による写真、VTRの販売はありません ■花束・プレゼント・祝電等の持ち込みや配達 ・会場運営の都合上、会場および客席への花束・プレゼントの持ち込みは禁止です。 ・ホールや出場者宛の配達も一切受け取りはできません。
リハーサル	当日のリハーサルはございません
主催	株式会社ヤマハミュージックジャパン
共催	ヤマハ音楽振興会
後援	ヤマハ株式会社

■グランドファイナル 概要

日 程	2026年8月6日(木)・7日(金)
会 場	ヤマハホール（東京都中央区銀座）
参加資格	セミファイナルにて選出された方
演奏曲	A部門：課題曲1曲、自選曲1曲（計2曲） B部門・C部門・D部門：課題曲1曲、課題編曲1曲、自選曲1曲（計3曲） ※詳細はP. 11～14 参照
制限時間	A部門：6分 B部門：10分 C部門：15分 D部門：20分 ※課題曲・課題編曲・自選曲を続けて演奏し、上記時間内に収めること
演奏規程	P. 15～16 参照
出場順	各部門とも本番前の抽選にて出場順を決定
使用ピアノ	ヤマハコンサートグランドピアノ CFX
審査員	7名（音楽大学教員、ピアニスト等） ※決定次第、コンクールWebサイトに公表
結果発表	会場発表およびコンクールWebサイトに掲載
講 評	出場者全員に審査員の講評用紙を当日お渡し ※当日の状況により、会場での講評お渡し方法は変更になる場合があります
賞	各部門、1位～3位を選出 ※受賞者に表彰状およびメダルを授与
参加費（税込）	A部門：15,400円 B部門：16,500円 C部門：18,700円 D部門：20,900円 ※参加された特約店楽器店へお支払いください。
入場について	部門券 1,100円（税込） ※部門ごとの入れ替え制につき、チケットは各部門でお買い求めください ※全席指定 ※購入はチケットぴあより（7月上旬発売予定） ※出場者以外の未就学児の入場はできません ※状況により、観客入場の可否については変更となる場合があります
大会窓口	ヤマハジュニアピアノコンクール事務局 ※出場者へのご案内、スケジュール、プログラム校正等のご連絡は、コンクール事務局より、 出場者へ直接ご案内します
禁止事項	■写真・動画の撮影 ・客席内での写真撮影・録音・動画撮影は演奏や審査の妨げとなる恐れがあるため、禁止させていただきます。 また、録音・撮影(投稿含む)を行った方は、今後のご出場はご遠慮いただく場合がございます。 ※主催者による写真、VTRの販売はありません ■花束・プレゼント・祝電等の持ち込みや配達 ・会場運営の都合上、会場および客席への花束・プレゼントの持ち込みは禁止です。 ・ホールや出場者宛の配達も一切受け取りはできません。
リハーサル	当日のリハーサルはございません
主 催	株式会社ヤマハミュージックジャパン
共 催	ヤマハ音楽振興会
後 援	ヤマハ株式会社

演奏曲

A部門

○分以内 = 合計の制限時間

	課題曲	課題曲楽譜譜例 ©YJPC	自選曲
二次選考 (ロマン派様式) 3分以内	① C.ツェルニー 5つの音による24の練習曲より 「小さなワルツ」Op.777-3 ※繰り返しありで演奏すること 出典例: 4期のピアノ名曲集1 バイエル程度(Gakken)他		出場者が自主的に選んだ楽曲によるソロ演奏。 既作曲、編曲作品、および音楽様式、音楽ジャンルは問いません。 (自作曲は不可)
	② J.F.F.ブルクミュラー 25の練習曲より第3曲 「パストラル」Op.100-3		
	③ A.グレチャニノフ 子供のためのアルバムより第4曲 「さようなら(わかれ)」Op.98-4 出典例: NEWピアノスタディレパートリー5 (ヤマハ音楽振興会)		
セミファイナル (バロック様式) 4分以内	① A.コレルリ サラバンド 二短調 Op.5-7 出典例: ヤマハピアノライブラリー ポリフォニーアルバム1 (ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス) 4期のピアノ名曲集2 ブルクミュラー 前半程度 (Gakken)		※いずれの大会においても、出場する部門の課題曲を自選曲として選曲することはできません。
	② J.クラーク マーチ(ウィリアム王の行進曲) 出典例: プレインヴェンション(全音楽譜出版社)		
	③ G.F.ヘンデル メヌエット イ短調 HWV549 出典例: ヤマハピアノライブラリー ポリフォニーアルバム1 (ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス)		
グランドファイナル (古典派様式) 6分以内	① J.B.ヴァンハル ソナチネ ヘ長調 全楽章 Op.41-2 出典例: ヤマハピアノライブラリー ソナチネアルバム1 (ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス)		※出場者が編曲をする場合、または一部省略して演奏する場合は、P.15~16「演奏規程」およびP.17~19を必ずご覧ください。
	② T.ハスリングガー ソナチネ 八長調 全楽章 出典例: ヤマハピアノライブラリー ソナチネアルバム1 (ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス)		
	③ J.シュミット ソナチネ 二長調 全楽章 Op.207-1 出典例: ヤマハピアノライブラリー ソナチネアルバム2 (ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス)		

※一般的に入手しやすいと思われる楽曲は、出典を記載しておりません

B部門

○分
以内 = 合計の制限時間

	課題曲	課題曲楽譜譜例 ©YJPC	自選曲
二次選考(映像審査) (ロマン派様式) 4分以内	① J.F.F.ブルクミュラー 25の練習曲より 第14曲 「シュタイアー舞曲」 Op.100-14	Mouvement de valse (♩=176) 	出場者が自主的に選んだ楽曲によるソロ演奏。 既作曲、編曲作品、および音楽様式、音楽ジャンルは問いません。 (自作曲は不可)
	② E.H.グリーグ 抒情小品集 第1集より 「ワルツ」 Op.12-2	Allegro moderato 	
	③ S.マイカバル 子どものためのアルバムより 「子どものダンス」ト長調 出典例:マイカバル ピアノ小品集(全音楽譜出版社)	Allegretto giocoso 	
セミファイナル (バロック様式) 6分以内	① F.クーペラン ブーレー 二短調 出典例:ヤマハピアノライブラリー バロック小品集1 (ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス)	Allegro 	※いずれの大会においても、出場する部門の課題曲を自選曲として選曲することはできません。
	② J.S.バッハ インヴェンション第3番 二長調 BWV774		
	③ W.F.バッハ 春 イ長調 出典例:ヤマハピアノライブラリーバロック小品集2 (ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス) ブレイベンション (全音楽譜出版社)	Allegro 	
グランドファイナル (古典派様式)	① F.スピンドラー ソナチネ 八長調 Op.157-4 全楽章 出典例:ヤマハピアノライブラリー ソナチネアルバム2 (ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス)	Moderato 	※出場者が編曲をする場合、または一部省略して演奏する場合は、P.15~16「演奏規程」およびP.17~19を必ずご覧ください。
	② W.A.モーツァルト 6つのウィーンのソナチネより 第1番ハ長調(KV439b)より 第4楽章 出典例:モーツァルト 6つのウィーンソナチネ(全音楽譜出版社)	Allegro 	
	③ J.H.ヴォルギーシェク ロントト長調 Op.18-1 出典例:チェコのピアノ作品集1 古典派 (全音楽譜出版社)	Allegro (♩=126) 	
(課題編曲) 10分以内	*コンクール事務局が用意した楽譜を演奏すること(2026年3月下旬よりヤマハ「ぷりんと楽譜」サイトおよびMumaにて販売予定)。その際、出場者自身のアイディアに基づき、更にアレンジを加えても構いません。		
	課題編曲は3月下旬の楽譜発売に合わせて公式サイトにて発表します		

※一般的に入手しやすいと思われる楽曲は、出典を記載しておりません

C部門

○分
以内 = 合計の制限時間

課題曲		課題曲楽譜譜例 ©YJPC	自選曲
二次選考（映像審査） （ロマン派様式） 5分以内	① F.メンデルスゾーン 無言歌集 第1巻 Op.19より 第4曲 イ長調「信頼」		出場者が自主的に選んだ楽曲によるソロ演奏。 既作曲、編曲作品、および音楽様式、音楽ジャンルは問いません。 （自作曲は不可）
	② F.バウムフェルダー ロンドミニョン ト長調 Op.49 出典例：ヤマハピアノライブラリー ロマン派ピアノ小品集4 （ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス）		
	③ V.レビコフ 3つの小品より メランコリックワルツ 口短調 Op.3-3 ※Op.2-3と表記されている場合あり 出典例：発表会・レッスン併用曲集 ピアノ・クルーズ [レベル10] (全音楽譜出版社) バステイン ピアノ名曲集4（東音企画）		
セミファイナル （バロック様式） 8分以内	① J.P.ラモー クラヴサン曲集と運指法 第1番（第2組曲） より「タンブーラン」 出典例：ヤマハピアノライブラリー バロック小品集1 （ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス）		※いずれの大会においても、出場する部門の課題曲を自選曲として選曲することはできません。
	② L.C.ダカン クラヴサン曲集第1巻 第3組曲 より かっこう 出典例：NEWピアノスタディ レパートリー コレクションズⅢ vol.2（ヤマハ音楽振興会）		
	③ J.S.バッハ シンフォニア 第6番 ホ長調 BWV792		
グランドファイナル （古典派様式）	① F.J.ハイドン ソナタ（第32番）ト短調 Hob.XVI/44 より 第1楽章		※出場者が編曲をする場合、または一部省略して演奏する場合は、P.15～16「演奏規程」およびP.17～19を必ずご覧ください。
	② W.A.モーツァルト ロンド ニ長調 KV485		
	③ L.v.ベートーヴェン スイスの歌による6つのやさしい変奏曲 へ長調 WoO64		
*コンクール事務局が用意した楽譜を演奏すること（2026年3月下旬よりヤマハ「ぷりと楽譜」サイトおよびMumaにて販売予定）。その際、出場者自身のアイディアに基づき、更にアレンジを加えても構いません。			
課題編曲は 3月下旬の楽譜発売に合わせて公式サイトにて発表します			
15分以内			

※一般的に入手しやすいと思われる楽曲は、出典を記載しておりません

D部門

○分
以内 = 合計の制限時間

	課題曲	課題曲楽譜譜例 ©YJPC	自選曲
二次選考（映像審査） （ロマン派様式） 6分以内	① R.シューマン 子供の情景 Op.15より 第1曲「見知らぬ国と人々について」 第2曲「不思議なお話」 第3曲「鬼ごっこ」 ※3曲とも演奏すること		出場者が自主的に選んだ楽曲によるソロ演奏。 既作曲、編曲作品、および音楽様式、音楽ジャンルは問いません。 （自作曲は不可）
	② P.I.チャイコフスキー 四季 Op.37bisより 11月「トロイカ」		
	③ I.アルベニス 組曲「エスパーニャ」(6つのアルバムブラット) Op.165より第2曲「タンゴ」		
セミファイナル （バロック様式） 10分以内	① D.スカルラッティ ソナタ ヘ短調 K.19/L.383 出典例：スカルラッティ ソナタ集1 原典版(音楽之友社)		※いずれの大会においても、出場する部門の課題曲を自選曲として選曲することはできません。
	② J.S.バッハ イギリス組曲第3番 ト短調 BWV808 より プレリュード		
	③ J.S.バッハ 平均律クラヴィーア曲集第1巻より 第9番 ホ長調 プレリュードとフーガ BWV854		
グラントファイナル （古典派様式）	① F.J.ハイドン ソナタ(第53番) ホ短調 Hob.XVI/34より 第1楽章、第3楽章		※出場者が編曲をする場合、または一部省略して演奏する場合は、P.15～16「演奏規程」およびP.17～19を必ずご覧ください。
	② W.A.モーツァルト ソナタ第9番 イ短調 KV310(300d) より 第1楽章、第3楽章		
	③ L.v.ベートーヴェン ソナタ第12番 変イ長調 Op.26より 第1楽章		
課題編曲 20分以内	*コンクール事務局が用意した楽譜を演奏すること(2026年3月下旬よりヤマハ「ぶりんと楽譜」サイトおよびMumaにて販売予定)。その際、出場者自身のアイディアに基づき、更にアレンジを加えても構いません。		
	課題編曲は 3月下旬の楽譜発売に合わせて公式サイトにて発表します		

※一般的に入手しやすいと思われる楽曲は、出典を記載しておりません

■演奏規程：二次選考(映像審査)以降

＜二次選考(映像審査)、セミファイナル＞

- ・ **課題曲 1 曲** + **自選曲 1 曲** を選択し、「課題曲→自選曲」の順に演奏してください。
- ・ 課題曲と自選曲を合わせ、制限時間内に収まるように選曲・演奏してください。
- ・ 二次選考(映像審査)では、撮影は2曲続けて行うこと。曲間等で一時停止は行わないこと。また、編集もしないこと。

＜グランドファイナル＞

- ・ A部門：**課題曲 1 曲** + **自選曲 1 曲** を選択してください。
- ・ B部門～D部門：**課題曲 1 曲** + **課題編曲 1 曲** + **自選曲 1 曲** を選択してください。
- ・ 演奏順は任意とします。但し、事前に申請した演奏順で演奏してください。
- ・ 課題曲と課題編曲、自選曲を合わせ、制限時間内に収まるように選曲・演奏してください。

⚠ 以下の規程を満たさない場合は減点となります

- 制限時間を超過した場合
 - ・ 各部門の制限時間に対する超過時間の程度に応じて、減点処置を講ずる。
※制限時間は、最初の楽曲の弾き始めから、曲間を含み最後の楽曲の弾き終わりまでとする。
※入退場時間および補助ペダル・足台等の設置・撤去の時間は含まない。
- 異なる演奏順(曲順)で演奏した場合
 - ・ 二次選考(映像審査)およびセミファイナルでは「課題曲」→「自選曲」の順。
 - ・ グランドファイナルでは、事前に申請した順。

⚠ 以下の規程を満たさない場合は失格となります

課題曲・ 課題編曲

- すべての大会において、暗譜で演奏のこと。
- 二次選考(映像審査)、セミファイナル、グランドファイナルの各部門とも、指定された楽曲より1曲を出場者が選択し、演奏のこと。
- 版指定のある楽曲を除き、出典例の記載がない楽曲も含め、楽譜はどの出版社のもの(輸入版含む)を使用しても構わない。原典版・校訂版の指定なし。
※P.11～14の演奏曲ページに記載されている出典楽譜・曲集名・出版社は参考例
※出版社・校訂者によっては、楽曲の長さを含め、大きく異なる場合がある
- リピート(繰り返し)は、出場者の任意でよい。1番括弧等がある場合も同様。
但し、リピート指定のある課題曲については、指定どおりに演奏すること。
- 版指定およびリピート指定についてはP.11～14の課題曲一覧を参照のこと。
- ダ・カーポ等がある場合は、楽譜どおりに演奏のこと。
- 出場する部門で指定されている全ての課題曲および課題編曲(作曲家自身によるピアノソロ編曲版および他編曲版を含む)は、二次選考(映像審査)・セミファイナル・グランドファイナルのいずれの大会においても自選曲として演奏することはできない。
但し、出場部門以外の課題曲および課題編曲を自選曲として演奏することは可能。
- グランドファイナルの課題編曲は、コンクール事務局にて編曲された楽曲(ヤマハ「ぷりん」と楽譜」サイトおよびMumaにて2026年3月下旬より販売予定)より1曲を出場者が選択し、演奏すること。その際、出場者自身のアイディアに基づき、更にアレンジを加えて演奏しても構わない。但し、カット等により短くすることは不可。
- 事前に演奏曲目を申請のこと。セミファイナルおよびグランドファイナルでの演奏曲目は、二次選考(映像審査)通過後、同時に申請すること。
- いずれの大会においても、申請後の曲目や編曲・アレンジ有無の変更、追加、削除は不可。

自選曲

- すべての大会において、暗譜で演奏のこと。
- 各部門とも、出場者が自主的に選んだ任意の1曲をソロ演奏のこと。既成曲、編曲作品および音楽様式、音楽ジャンルは問わない。（課題曲に指定されている楽曲については下記参照）
- 版の指定はなし。
- 全大会を通じて、同じ楽曲を演奏することが可能。
- 出場する部門で指定されている全ての課題曲および課題編曲（作曲家自身によるピアノソロ編曲版および他編曲版を含む）は、二次選考（映像審査）・セミファイナル・グランドファイナルのいずれの大会においても自選曲として演奏することはできない。
但し、出場部門以外の課題曲および課題編曲を自選曲として演奏することは可能。
- ソナチネやソナタ等の楽章抜粋、組曲や変奏曲からの抜粋は可能。
また、同じ作品番号もしくは同一とみなされる楽曲からの複数選曲も可能。
その場合、演奏する楽章や曲名などを申請時に明記すること。
抜粋しない場合は「全楽章」あるいは「全曲」と明記のこと。
例） ・J.S.バッハ / フランス組曲 第6番 ホ長調 BWV817より メヌエット
・M.クレメンティ / ソナチネ ト長調 Op.36-2 第1楽章
・E.グリーグ / 叙情小品集より Op.65-6 「トロルドハウゲンの婚礼の日」
・湯山昭 / 音の星座より 「葡萄の花」
・D.カバレフスキー / やさしい変奏曲「トッカータ」 Op.40-1より
Prelude, Theme, Var. I・II・Ⅶ～Ⅻ, Coda
・B.バルトーク / ルーマニア民俗舞曲 Sz.56（全曲）
- 楽曲を一部省略して演奏する場合は、楽曲名のあとに「一部省略」と必ず明記すること。
但し、楽曲の構成やイメージを崩してしまう省略と判断された場合は審査に影響する場合あり。
例） F.ショパン / スケルツォ 第2番 Op.31 変ロ短調（一部省略）
- 出場者が自選曲を編曲または一部省略する場合、ご自身で編曲許可の確認および申請手続きをすること（著作権保護期間が終了した楽曲は不要）。詳しくは P.17～19 を参照のこと。
尚、コンクール事務局への、楽曲の著作権や、編曲の可否に関する確認のお問い合わせは受け付けない。また、編曲作品を演奏する場合は、編曲者名を作曲者名と共に明記すること。
- 自作曲を自選曲として演奏することはできない。
- リピート（繰り返し）は、出場者の任意でよい。1 番括弧等がある場合も同様。
- 事前に演奏曲目を申請のこと。セミファイナルおよびグランドファイナルでの演奏曲目は、二次選考（映像審査）通過後、同時に申請すること。
- いずれの大会においても、申請後の曲目変更、曲順変更、追加、削除は不可。

応募映像

- 撮影した動画は、映像および音声の編集をせず、撮影したままの状態で提出のこと。
- 課題曲から自選曲を続けて演奏し、1 本で撮影すること。

**補助ペダル
・足台等**

- 補助ペダルや足台等の補助ツールと、付属のシートは、出場者または付添者が持参し、取付け・取外しを行うこと。セミファイナルおよびグランドファイナルでは、コンクール事務局は補助ペダル（品番HP-705）を1個用意しますが、取付け・取外しは出場者あるいは付添者が行うこと。
- ステージマナーの観点から、補助ペダル等の取り付けの際、必要以上の会話は避けること。

椅子

- セミファイナルでの椅子は、背もたれ付きピアノ椅子のみ。
- 椅子の位置や高さの調整は、出場者または付添者が行うこと。
- 状況に応じてコンクール事務局にて椅子の脚に滑り止めキャップをつける対応を行うため、椅子の滑り止めシート等の持ち込みは不可。

■自選曲における編曲について

！ ご注意ください！ たとえ1小節でも1音でも意図的に省略した場合は、「編曲」に該当します

—・—・— 編曲演奏に関する著作権を理解いただくために、ご一読ください —・—・—

「著作権」とは著作物を“複製・翻訳・放送・上演等”の方法により利用することに関する独占的な権利であり、著作権法はこれらの権利を著作者が専有することを規定しています。音楽の場合、著作権者（＝楽曲の著作権を所有している作曲者・音楽出版社など）以外の者が著作権保護期間中の楽曲を演奏することは「他人の持ち物を利用させてもらう」ことであり、利用の形態（例えば、“管弦楽曲のピアノ編曲”のように、原曲とは違う形に編曲するケース）によっては、著作権者（＝その楽曲の持ち主）の了承を得られない場合や、特別な手続きを必要とする場合があります。

もちろん、「原曲とは違う形に編曲することが認められない作品」を編曲してコンクールの自選曲にすることはできません。また、「ピアノ用に編曲するために編曲許可申請が必要な作品」を編曲して演奏する場合は、出場者ご本人の責任で編曲許可申請手続きを行ってください。

尚、コンクール参加申込～当日までの期間中に、演奏曲が「編曲が許可されない作品であると判明」したり「編曲許可申請の不備が判明」した場合、その時点で出場を辞退していただくことになります。

楽曲の「編曲」について

著作権保護期間中の楽曲を原曲とは違う形に編曲する場合（例えば、原曲が管弦楽曲である作品をピアノ用に編曲する場合）には、「他人の持ち物に手を加える」ことにあたるため、持ち主の了承が必要な（または編曲を認めてもらえない）場合があります。特に、クラシック音楽の近現代作品に「編曲許可を必要とする」あるいは「編曲を認めてもらえない」楽曲が多いようです。日本国内作曲家の作品についても同様です。編曲については、参加者ご本人の責任で必要な許可手続き等を行ってください。但し、以下の場合は、許可申請は不要です。

申請不要

- ◇ 著作権保護期間が終了している（この状態をP.D.=パブリック・ドメインと言う）楽曲
- ◇ 著作権保護期間中の楽曲でも、市販のピアノ用の編曲楽譜をそのまま演奏する場合

編曲許可申請について

日本国内の作品（以下、内国曲といいます）の場合、作曲者（著作者）から権利を譲渡された音楽出版社（著作権者）が編曲許可申請の窓口になるケースがほとんどです（申請を受けた出版社は著作者に確認をし、申請者に回答）。外国曲は海外の音楽出版社（オリジナル・パブリッシャー＝OP）が管理していますので、“OP”が窓口になりますが、日本国内にその“OP”の下請出版社（サブ・パブリッシャー＝SP）が存在する場合は“SP”が窓口になります。

※JASRACのデータベース検索「J-WID」上では OPは「出版者」 SPは「サブ出版」と表示されています

編曲許可申請の際にはまず、「どこに申請をすれば良いか」を知るために、編曲したい楽曲の音楽出版社（もしくはサブ・パブリッシャー＝SP）を調べることが必要です。これは通常、一般社団法人日本音楽著作権協会（JASRAC）のホームページ内作品データベース検索「J-WID」(<http://www2.jasrac.or.jp/eJwid/>)にて調べることができます。（外国曲は外国資料部で教えてもらうこともできます※）

後述「管理出版社の調べ方」の要領で検索し申請先がわかりましたら、連絡し指示に従って申請等を行ってください。

※JASRACは「楽曲を管理している出版社（OP又はSP）がどこなのか」の紹介はしてくれますが、「編曲しても良いかどうか」の判断はあくまでも出版社（あるいは著作権者）が行うもので、JASRACの権限外の問題です。JASRACが許可する権限を持っているのは「演奏して良いかどうか」であって「編曲して良いかどうか」ではありません。しばしば「JASRACから“演奏してOKです”と言われました」という声を耳にしますが、これは「その曲を管理している音楽出版社が“編曲”をOKしているのなら“演奏”しても良いですよ」という意味であるとお考えください。

管理出版社の調べ方

- ① JASRACホームページ内作品検索サービス「J-WID」(<http://www2.jasrac.or.jp/eJwid/>)にアクセスします。
- ② JASRAC作品検索サービス「J-WID」使用上の注意を確認し、**了承**をクリックして検索画面へ進みます。
- ③ 上段にある「作品データ表記基準」を参照の上、作品タイトルや著作権者名を入力して検索ボタンをクリックします。
- ④ 表示された検索結果一覧（作品）の中から該当する作品名を選択すると、作品の詳細が以下のように表示されます。

《内国曲の参考例》

作品コード 987-6543-2 ピアノのうた

権利者情報				管理状況		A												注意
No.	権利者	識別	契約	信託状況	所属団体	演奏	録音	出版	貸与	ビデオ	映画	CM	ゲーム	放送	配信	通カラ		
1	山葉 一郎	作曲		全信託	JASRAC	J	J	J	J	J	J	J	J	J	J	J		
2	音楽 花子	作詞		無信託														
3	ヤマハ音楽振興会	出版者		全信託	JASRAC													
作品名・副題 (検索用名称を含む) B						アーティスト												
番号/区分		タイトル							No.		アーティスト名							
正題		ピアノのうた							1									

《外国曲の参考例》

作品コード 0AI-2345-6 I LOVE PIANO

権利者情報				管理状況		演奏	録音	出版	貸与	ビデオ	映画	CM	ゲーム	放送	配信	通カラ	注意
No.	権利者	識別	契約	信託 状況	所属団体	J	J	J	J	J	J	J	J	J	J	J	
1	CLEF JOHN	作曲作詞		演奏M	演:BMI 録:NS												
2	NOTE MARY	作曲作詞		演奏M	演:BMI 録:NS												
3	ABCDE MUSIC LIMITED	出版者		演録M	演:BMI 録:HARRY FOX												
	エービーシーディー・ミュージックジャパン	サブ出版		全信託	JASRAC			—									
	ヤマハ音楽振興会	サブ出版		全信託	JASRAC			—									
		作品名・副題(検索用名称を含む)						アーティスト									
番号/区分		タイトル					No.	アーティスト名									
正題		I LOVE PIANO					1										
OT(正題)																	
2		ピアノ大好き															

※「演奏＝（A）」欄が空欄の出版社＝（B）（外国曲の場合はサブ出版社（B）のすべて）に申請（問い合わせ）ください。
 但し、内国曲の場合で、出版社（B）が複数ある場合は、上段の出版社（B）に申請（問い合わせ）ください。

※ 管理出版社への申請（問い合わせ）にあたっては、以下の項目を伝えてください。

- ・「(C)」作品コード
- ・「(D)」作品名（外国曲の場合はできる限り原曲名）

管理出版社へのお問い合わせにあたって

ピアノでの演奏を目的とした編曲が可能かどうかを問い合わせる際は、「演奏する」ことに対しての許可ではなく「編曲する」ことに関する許可の問い合わせとなることをご注意ください。管理出版社およびサブ・パブリッシャーが複数に渡る場合は、すべての出版社の許可が必要となります。

具体的には、次のようにお問い合わせいただくと出版社側にもわかりやすいと思われます。

問い合わせ先の出版社で権利を管理している「作品コード〇〇〇〇〇」「作品名〇〇〇〇〇」という曲を「ピアノコンクールで演奏したい」、「ピアノで演奏するので、結果として編曲することになってしまう」がよいかどうか確認したい。

※メドレーで使用する場合はその旨も申告する

その結果

- OKが出た場合は、そのままその楽曲を編曲して構いません。
- 「編曲許可申請手続きが必要」と言われた場合は、その出版社の指示に従って所定の手続きを行ってください。
- 「編曲は不可」との結果が出た場合は、その楽曲はピアノでの演奏を目的とした編曲はできません。

留意点

- ・編曲許可申請は出場者ご本人の責任において行ってください。
- ・申請時に手数料の支払い、編曲楽譜の提出等を求められる場合があります。
- ・申請～回答まで数週間～数か月かかる場合もあります。また、必ずしも許可が取れるとは限りません。
- ・編曲許可が取れた場合、許可料の支払いを求められる場合があります。
- ・外国曲で日本国内にSPが存在しない場合は、海外のOPに直接連絡をとることになります。
- ・外国曲、内国曲に関わらず管理出版社（OP又はSP）が存在しない楽曲については、作曲者本人やその遺族に直接連絡をとることになります。但し、いずれも手続きは非常に困難だと思われます。
- ・許可申請手数料、編曲許可料等の費用は、出場者ご本人がご負担ください。

*主な外国作品 管理出版社(者)連絡先についてはJASRACのホームページをご確認ください。

<JASRACホームページ <http://www.jasrac.or.jp/info/foreign.html>>

*JASRACのホームページに記載のない管理出版社については、Webサイト等で各自お調べください。

*問い合わせは必ず楽曲の管理出版社をお調べの上、そちらにお問い合わせください。楽譜集などをご覧の場合、楽譜集の出版社と楽曲の管理出版社は大半が異なりますので、その楽譜集の出版元（発売元、販売元）への問い合わせはされないようご注意ください。

■ 楽曲演奏使用について

著作権保護期間中の楽曲に関わる著作権使用料には、「編曲許可にかかる料金」と「楽曲演奏使用にかかる料金」の2種類があります。

ヤマハジュニアピアノコンクールでは、このうち「楽曲演奏使用にかかる料金」に関する JASRAC への届出・使用料の支払いは、主催者が行っていますので、参加者ご本人にさせていただき手続き等はありません。

■個人情報の取り扱いについて

ヤマハジュニアピアノコンクールは、(株)ヤマハミュージックジャパン、ヤマハ音楽振興会、本コンクール業務委託会社、およびヤマハ特約楽器店が共同で運営・実施しております。

本申込書を通じて取得する個人情報につきましては、次の定めに則り、四者が共同で利用いたします。ご理解の上、お申込みくださいますようお願いいたします。

<共同利用目的>

- ・本コンクールの実施、関連する実施案内・諸連絡、その他運営管理のため
- ・楽器や音楽関連事業に関する商品やサービスのご案内のため

<共同利用する個人情報の項目>

- ・氏名、生年月日、年齢、特約店名、在籍コース等、申込書に記載された各情報項目

<管理責任者>

- ・(株)ヤマハミュージックジャパン ヤマハジュニアピアノコンクール事務局

■その他

◇ 審査内容・結果について

審査内容および結果についてのお問合せには一切応じかねますので、ご了承ください。
次大会への選出者は、会場発表およびコンクール Web サイトにてご確認ください。

◇ 悪天候等による開催の有無について

大会会場、大会エリアにおける警報発令等を鑑みながら判断し、万一、中止・延期の場合には速やかな連絡に努めます。ご連絡に関する詳細については、出場者へ別途ご案内いたします。

◇ 疾病等による欠場について

感染の恐れのある疾病に罹患された場合は、恐れ入りますが出場をご辞退くださいますようお願いいたします。

■ ヤマハジュニアピアノコンクール(YJPC) Webサイト

コンクール情報や結果を掲載いたします。

<https://jp.yamaha.com/products/contents/pianos/yjpc/>



■演奏映像の撮影について：YouTubeへの動画のアップロード方法

撮影機材について

演奏映像撮影は、ビデオカメラやスマートフォンなどをご利用ください。

応募映像について

- ① 応募映像は **2025 年 10 月以降に撮影したもの**に限ります。
- ② **課題曲→自選曲の順で続けて 1 本で撮影**してください。
演奏前後のお辞儀や衣装等は不要です。
途中、ステージでの本番と同様に、曲間に適切な間をあけて演奏してください。
- ③ **映像及び音声を編集することを禁じます**。データ上の音の加工や置き替え、エフェクト等一切の編集を禁じます。違反した場合には失格となります。
- ④ **演奏時の鍵盤を弾いている手元や、ペダルを踏んでいる足元と共に演奏者の全身が映るよう**に撮影ください。
- ⑤ スマートフォンの場合は、**本体横向きで撮影**してください。
- ⑥ 演奏に使用するピアノは、グランドピアノを推奨いたします。
- ⑦ 譜面台やその周りに（演奏曲と異なる楽曲も含め）楽譜や楽譜に類するものを置かないでください。
（暗譜演奏でないと判断される場合があります）
- ⑧ YouTube のタイトル欄には「名前フルネーム（漢字）、課題曲曲名、自選曲曲名」を入力してください。

スマートフォンを使用する場合は
撮影開始から**横向き**で撮影

映像が反転や回転しないよう撮影時にご注意下さい。
反転した映像では審査に差し障るため、
正しい向きで撮影された映像をご提出ください。

手ぶれがないよう撮影

手持ちの場合は両脇を締めてしっかり
持ち、ホールドしながら撮影ください。



横から、手元、
足元まで入る位置で撮影

YouTube への動画アップロード方法について

下記URLもしくは、右のQRコードへアクセスの上、ご確認ください。

<https://jp.yamaha.com/products/contents/pianos/yjpc/youtube/>

アップロード完了後、アップロードされた映像が正しく再生できるか、音量は適正かなど、必ずご自身でご確認をお願いいたします。



